2017-18 INTERNATIONAL ROTARY DISTRICT2770
ROTARY CLUB OF IWATSUKI
since 1963

Weekly Report

ロータリー：変化をもたらす

クラブ・テーマ 「これまでに感謝 これからを創造」 Share vision

— The 55th anniversary —

会 長 小林利郎　　例会場 ： 割烹「ふな又」　例会日：木曜日　点鐘 12:30～13:30
幹 事 出山知宏　　事務所：さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203　℡048-758-0680　FAX048-758-0681
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp　E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

小林利郎年度　第1回　通算2615例会　　平成29年7月6日

会長挨拶　　第 55 代会長　小林利郎

本日は、第４グループガバナー補佐清水恒信様（大宮西ＲＣ）、第４グループガバナー補佐幹事藤嶋剛史様（大宮西ＲＣ）大宮東ＲＣ会長鈴木八郎様、大宮東ＲＣ幹事高橋洋文様、直前グループ幹事瀬田雄一様（大宮東ＲＣ）、猛暑の折、またご多忙中にも関わらず当クラブの今年度第一回例会に御出ましを頂きまして有難うございます。心より歓迎申し上げます。

本年度は、皆様も御認識の通り、当クラブ創立55年という節目の年度です。それに先立ち、昨日、スポンサークラブであります大宮ロータリークラブの初例会に出山幹事とともに表敬のご挨拶にお邪魔して参りました。中川ガバナーエレクトをはじめ多くのメンバーの方々から激励の言葉も頂きまして、また当クラブの元会員の方2名の方からも態々、電話を頂いたこと皆様にご報告致しますと共に、私にとりましても、あらためてこのロータリーライフに於いての幸せをかみしめているところでございます。55年の長きにわたり岩槻ロータリーをつくりあげて来られた方々、支えられて来られた方々に感謝をあらためる年度、最初の例会です。皆様、宜しくお願い申し上げます。

幹事報告　　幹事　出山知宏

①７月の例会予定表が、大宮西 RC 様、大宮北東 RC 様より届いております。
②地区より購読誌ロータリーの友について、前年度からの変更点のご案内が届いております。
③国際ロータリー第 3000 地区グローバル補助金を使用した 4 つの国際奉仕事業の提案が届いております。
④公益財団法人 埼玉県腎・アイバンク協会様より、総会資料が届いております。
⑤さいたま市長 清水 勇人様より、先の市長選挙においての御礼状が届いております。
⑥認定 NPO 法人かものはしプロジェクト様より、年次報告書・講演企画等が届いております。
⑦ガバナー事務所から、ロータリーレート変更のお知らせが届いております。１ドル＝111 円（2017 年７月）　以上

本日のお客様

第４ｸﾞﾙｰﾌﾟ ｶﾞﾊﾞﾅｰ補佐 清水恒信様（大宮西）

第４ｸﾞﾙｰﾌﾟ ｶﾞﾊﾞﾅｰ補佐幹事 藤嶋剛史様（大宮西）

直前第４ｸﾞﾙｰﾌﾟ ｶﾞﾊﾞﾅｰ補佐幹事 瀬田雄一様（大宮東）

大宮東ＲＣ会長 鈴木八郎様

大宮東ＲＣ幹事 高橋洋文様

小林年度第１回目の例会にご訪問頂いたお客様方々より、会長幹事就任の御祝の言葉を頂戴致しました。誠にありがとうございます。

地区役員委嘱書授与

2017～2018 年度第 2770 地区大貫等ガバナー（上尾 RC）より、地区国際交流委員会委員長として原田晃博会員、また国際奉仕委員会委員として田中芳明会員にそれぞれ委嘱書が授与されました。

Happy birthday

７月誕生月会員
１４日　田畑寛樹会員

お誕生日おめでとうございます

委員会報告

会報・広報委員会
委員長　田畑寛樹

2017～2018 年 小林会長年度のスタートに伴い、ホームページ及び、週報のデザインを更新致しましたのでご確認の程宜しくお願い申

◆ 次回の例会 ◆ 平成29年7月13日(木) 各部門・委員会活動計画発表　　点鐘 12:30 会場 ふな又

し上げます。今年度から週報に会員の紹介等フリースペース等も設けます。こちらから声をかけさせて頂く場合、又皆様からも何か意見を頂戴する事もあると思いますので重ねてお願い申し上げます。

前年度支援･広報･学友委員会
委員長　鈴木　隆

小田年度で作成した募金用ポリオBOX・ポスターが出来上がりました。ポスターについては、会員各自の社名入りを３枚配布をさせて頂きますので、ご活用をお願い致します。また募金用BOXについては、数に限りはございますが幹事までお申し出ください。

本日の例会　　会長 所信表明

第５５代会長　小林利郎

『 あまねく人々を思いやるすぐれた人格者の精神は、長い年月をかけてその行いを見定めてはじめて、偉大さのほどが明かされるもの。名誉も報酬ももとめない。広く大きな心に支えられたその行いは、見るもたしかなしるしを地上に刻んではじめて、けだかい人格のしるしをも　しかと人びとの眼に刻むもの。』

《木を植えた男》ジャン・ジオノ（フランス）

これは私が30代後半に読んだことのあるジャン・ジオノというフランスの作家の　「木を植えた男」という物語　本の冒頭に書かれていた一編の詩です。

この物語は、「あなたがこれまでに出会ったことのある、もっとも並はずれた、忘れがたい人物は誰ですか」という質問に対する答えとして書かれたそうです。第一次世界大戦の直前に、一人の旅人がフランスのプロヴァンス地方をさまよっていて、ある羊飼いの老人に出会うところから始まります。ブッフィエという名のその老人は草も木も枯れ果て、ほとんど砂漠となり、荒涼とした丘に、さまざまな木々のドングリを来る日も来る日も植え続けていたのでした。その数は１０万個を越えていましたが、そのような土地のことです。あるものは天災に遭い、あるものは小動物などの被害で立ち枯れてしまいました。一万本のカエデが全滅した年もありました。しかし旅人が出会った時には、それでも一万本の木々が、背の丈ほどの幹に葉をつけていました。旅人が「あと３０年すればこの１万本は立派な木に育つのですね」と尋ねると、その老人は「あと３０年間私が生きていられれば、この一万本なんて大海の中のひとしずくになるだろうさ」と答えました。

その後、戦争が終わって、再びその丘を訪れた旅人は、砂漠化していた丘に緑の靄のような林が出現しているのを目の当たりにしました。そして３０年後には、老人の予言したとおり、砂漠のようであった丘は大きな森となり、自然の連鎖で豊かな川のせせらぎを生み、井戸水争いが絶えなかった村に豊穣と繁栄をもたらしていました。しかし、その老人は、その行いを自ら明かすことはなかった。たったひとりの男の信念が３０年という長い年月をかけて初めて魂の偉大さを明かし、そしてこの森は男のけだかい人格そのものとなったのです。

木を植えることをテーマにしたこの物語は、５５年という長い歴史をつくった、あるいはこれからつくりあげていく私達の活動とたくさんの共通点があるように思います。私は第55代会長の就任にあたって、どのように５５周年を迎えるべきかを考えるために、これまでの岩槻ロータリークラブと、これからの地域社会の接点を探り、歴代の会長が切り開いてきた歴史をたどりました。たとえば、年度計画書や周年記念誌を開いて岩槻ロータリークラブの歩みを熟視すると、それはクラブの単なる年表ではなく、その年、その年の会長をはじめ会員がどのように時代を読み、切り開いたのかという偉大な叙事詩として感じとれたのです。ともすれば目に見える結果だけをたどりがちな、それまでの私でしたが、これは我がクラブの先人達の心の意気の叙事詩で、岩槻ロータリークラブのクロニクルだったのです。この社会のながれを見据えて私達の活動はそのかたちを変えてきたのだと思います。しかし、その根底にあったものは、常に次の時代の明るい社会をという同志の仲間たちの心意気だったのだと思います。植えられた木々が育って林に広がるように、岩槻ロータリークラブの伝説が社会の活動となって広がっていきます。世の中の未来に思いを馳せるたのもしい人間が脈々と歴史を引き継いで活動を続けていきます。私は、それこそが地上に刻まれた、けだかい人格者の精神のしるしだと思います。

人材は木、私達一人ひとりが関わりを深めつくりあげた人脈は林、そしてそれらが連鎖の中で大きな森となっていくのが岩槻ロータリークラブの私達が刻んだ精神のしるしのはずです。５５周年である本年の活動を通じて、この大きな森を皆様と体感できる一年にしたいと思います。そして当クラブの先人達の創始の精神を振り返り、木、林、森の関係をも示す事ができたらと思います。

一年間、皆様のご理解をお願い申し上げます。

スマイルBOXより

ビジター

第4Gガバナー補佐清水恒信様（大宮西）
お世話になります。一年宜しくお願い申し上げます！
第4Gガバナー補佐幹事藤嶋剛史様（大宮西）
お世話になります。
大宮東RC会長　鈴木八郎様
初例会おめでとうございます。一年間宜しくお願いします。
大宮東RC幹事　高橋洋文様
初例会おめでとう御座います。１年間宜しくお願いします。
直前第4Gガバナー補佐幹事　瀬田雄一様
小林会長、出山幹事、一年間頑張って下さい。今日はよろしくお願いします。

メンバー（50音順）

遠藤隆雄　小田光司　菊地　廣　小林利郎　小林佑次
塩田淳司　鈴木　隆　鈴木真樹　関根信行　田口雅弘
田中芳明　田畑寛樹　津多一幸　出山知宏　中村　正
根岸節子　原田晃博　藤澤洋介　増岡昌行　三浦宣之

✿　たくさんのご芳志ありがとうございました　✿

スマイル報告	
本日のスマイル合計	146,000 円
年間累計額	146,000 円

出席報告				
会員数	出席数	免除者	MU	出席率
23	20			86.96%

発 行　会報･広報委員会　委員長 田畑寛樹　副委員長 増岡昌行　委員 三浦宣之 高橋真理以